

2023「JCF 公認 *Coupe du Japon* MTB」共通テクニカルガイド

20230131

Coupe du Japon MTB (略称;CJ)とは

公認全国大会として、国際自転車競技連合(UCI)の基準をベースに、オリンピック、世界選手権大会、ワールドカップなどへの参加枠獲得のための登竜門的な国内競技者の競技力向上などを狙ったもので、国際登録大会を含めて構成されます。

毎年おおむね4月から10月頃までをシーズンとして、成績によって国内ポイントやUCI国際ポイントが与えられ、その集計により翌年度のカテゴリー昇降格や、連盟による強化指定選手への選抜、国際大会派遣選考などの参考ともなります。

レースカテゴリーはUCI基準の他に国内カテゴリーを開催し、ユース層のタレント発掘から、マスターズ層の生涯スポーツの推進としても機能するナショナルシリーズとなります。

国際登録大会においては、同様にポイントの獲得や選手強化の一環として海外からの競技者受け皿として機能し、国内競技会の国際化、競技力向上の役を果たしてきています。

また、各会場地では、観光も相まった、スポーツツーリズムとしての連携により地域活性化のひとつとしても開催の定着をはかります。

Coupe du Japon MTBは国際自転車競技連合(以下UCI)規則に従って行われる国際大会等の国内で開催される一連の公益財団法人日本自転車競技連盟公認大会です。本ガイドは共通事項を取りまとめたもので、UCI国際登録大会など各個別の大会要項が優先されます。

1. 大会名称
Coupe du Japon MTB (クップデュ ジャポン MTB)
「Coupe du Japon MTB *****」各大会名称の標記
- 1.2. 大会クラス
 - ① UCI 公認国内開催大会(CJ-U)
 - ② 全国レベル公認大会(CJ-1)
- 1.3. 主催
開催地実行委員会等、一般社団法人MTBリーグ
- 1.4. 公認(予定)
公益財団法人日本自転車競技連盟
- 1.5. 後援(予定)
公益財団法人JKA、開催都道府県自転車競技連盟、一般財団法人日本自転車普及協会、一般財団法人自転車産業振興協会、一般社団法人自転車協会、ほか
- 1.6. 協賛(予定)
株式会社シマノ、株式会社OGKカブト、ほか
- 1.7. 協力(予定)
- 1.8. 会場
2023 カレンダー参照 (<https://mtb-l.jp/calendar/events2023/>)

1.9. 開催期日

2023 カレンダー参照 (<https://mtb-l.jp/calendar/events2023/>)

* 会場、および開催期日についてはやむを得ない特別な事情があるときにウェブサイト等に掲載して変更を行う場合がある。この場合でも、理由の如何を問わず、大会エントリー費について返還することは要しない。

2. 開催競技種目

UCI 規定の種目から一部が行われる

① エンデュランス系

・クロスカントリー・オリンピック(XCO) ・クロスカントリー・エリミネーター(XCE)
・クロスカントリー・マラソン(XCM) ・クロスカントリー・ステージレース(XCS)
・クロスカントリー・ショートトラック(XCC) ・クロスカントリー・リレー(XCR)
・クロスカントリー・タイムトライアル(XCT) ・クロスカントリー・P to P(XCP)

② グラビティ系

・ダウンヒル・インディヴィデュアル(DHI)・ダウンヒル・マラソン(DHM)
・フォア・クロス(4X)
・エンデューロ(END)

③ その他

・パンプトラック
・E-マウンテンバイク

* 種目により年間ランキングポイントの対象とならないものもある。

3. 競技者クラス

次の公認クラスを男女とも設定する。

A:UCI カテゴリ

- ① エリート; エンデュランス系 19 歳以上(含 U23; 19~22 歳)2004 以前生まれ)、
グラビティ系 17 歳以上(含ジュニア; 17~18 歳)2005 以前生まれ)。
② ジュニア; 17 歳および 18 歳(エンデュランス系のみ 2005-2006 生まれ)

B:JCF カテゴリ

- ③ マスターズ; 30 歳以上の競技者でこのクラスを選択した登録者。40,50,60 の別設定あり。
2020 年より UCI 規則 4.1.009 により 35 歳以上となるが、同 1.1.036、037 を適用し 30 歳以上として行う。UCI に登録されたチーム所属ライダー、および、同シーズン中に、UCI 個人ポイントを獲得したライダーは除外される。(UCI 国際マスターズイベントにおいては規則 4.1.009 の通り 35 歳以上である)
④ ユース; 13~16 歳。2007-2010 生まれ
⑤ アドバンス; 17 歳以上(中級者クラス)2004 以前生まれ
⑥ チャレンジ; 17 歳以上 2004 以前生まれ

C: カデット,キッズ; **12 歳以下**のクラス。2011 以降生まれ

これらのクラスの実施については主催者により行われ、UCI カテゴリ、JCF カテゴリでの名称と異なったもの(例:小学生高学年クラスなど)にて行われる場合がある。臨時登録が行なわれる場合でも参加者の傷害保険加入については主催者に責任がある。

*12 歳以下の競技者はインターロッキング・システム無しのフラットペダルを使用しなければならない。UCI 6.1.079 トウクリップなども含まれる。学年別などのクラス混走の場合については別途各主催者による大会要項で定められる。

4. 競技規則

大会は最新 UCI(国際自転車競技連合)競技規則および JCF(公益財団法人日本自転車競技連盟)競技規則および大会特別規則による。

5. 参加資格、手順
本年度有効な UCI 加盟国連盟発行の競技者ライセンスを所持し、マウンテンバイクチーム登録がされている競技者。
ただし公認クラス以外の大会主催者が設定するクラスへは各大会時の臨時登録により参加できる。
これらの区分については各大会テクニカルガイドによる。
臨時登録費については各大会ごと徴収され都道府県連盟を通じて JCF に送付される。

参加資格を得たものは、各大会の参加手続きを期限内に行うことで各大会への参加が承認される。

- 5.1. ライセンス
競技者ライセンス。日本では公益財団法人日本自転車競技連盟が発行する。
手続きについては次のサイトより行う。
JCF 登録について
<https://jcf.or.jp/official/registration/>
- 5.2. マウンテンバイクチーム登録
チーム登録については、登録サイトによりチーム代表者が手続きを行う。
チーム登録について
<https://www.sportsentry.ne.jp/>
- 5.3. 参加費
大会主催者は、設定された参加費を徴収する。グラビティ系競技(ダウンヒル)等においては別途搬送用リフト費用が発生することがある。
- 5.4. 大会参加については下記の項目について遵守、許諾するものとする。
・競技規則に従って行動し、全ての行動に責任を持つこと。
・競技参加にあたり、ある程度の危険が伴うことを理解し、競技中、競技に関連して起こった障害、死亡、事故等で受けた損害に対し、主催者及び公益財団法人日本自転車競技連盟、一般社団法人MTBリーグ、大会役員、会場管理者、参加競技者、関係する諸団体に対し非難や責任の追及、または損害賠償の請求はできないこと。
・主催者及び公益財団法人日本自転車競技連盟、一般社団法人MTBリーグが大会に関わり随時認める第三者が、すべてのメディアにおいて、競技に関わり制作されるビデオ、写真、また、参加に際し自身またはチームが提供した氏名、映像、写真、および経歴等の資料を、永続的に使用すること。
・主催者及び公益財団法人日本自転車競技連盟、一般社団法人MTBリーグが大会に関わりテレビ、ラジオ、映画及びインターネット等を含むすべてのメディアにおいて上記の記録・資料等を放送、放映、及び公開することがあること。
・主催者及び公益財団法人日本自転車競技連盟、一般社団法人MTBリーグが上記の記録・資料等の使用について、自身がいかなる利益をも有していないこと。
・コース以外の場所については最徐行し、交通規則を遵守し、不必要な走行は行わないこと。
・会場内の全て、関連した宿泊その他の施設において、常時清潔に保つように心がけ、ごみ等は必ず持ち帰ること。
・国及び行政、または関係団体による感染症拡大防止施策について理解し、これらを遵守すること。

6. チーム

- 6.1. チームの構成
マウンテンバイク・チームはJCF公認 Coupe du Japon MTB 大会に参加することを目的に、次の者から構成される団体である：
最少 1 名から最多 10 名の有効な JCF/UCI ライセンス(年間)を所持する **13 歳以上**の競技者で、各クラスに該当する者、および、最少 1 名から最多3名の登録役員。(競技者と役員は兼務が可能)
- 6.1. チームの名称
チームの名称には、他のチームまたは団体と明確に区別できる固有の正式名称を持たなければならない。チーム名称は、暦年中に変更することは出来ない。チーム名の**最大文字数は日本語、英語表記とも 30 バイト**である。
- 6.2. チーム登録者の条件
競技者全員が、年度有効な JCF 登録者(更新手続き中を含む)、または UCI 加盟国連盟の有効な登録者であること。競技者は、暦年中に常に一つのチームにのみ所属することができる。
チーム役員は、UCI 加盟国連盟登録者、チームアテンダント登録者、日本体育協会公認のコーチ、指導員等の資格取得を強く推奨する。

- 6.3. 登録
チームは毎年度、登録手続きを行わなければならない。
チーム及びその構成する競技者は、参加資格および保険適用のために**各出場大会の開催前月までにチーム登録がされている必要がある**。登録がされていない競技者について主催者または連盟は参加を拒否する権限を有する。その場合においても参加費の返還は行わない。
- 6.4. 保険
チーム登録競技者は、MTBリーグの管理下(主催、主管、公認等)での傷害保険および賠償責任保険に加入する。(http://www.sportsanzen.org/) 補償対象については保険会社の約款による。一部のプロフェッショナル競技者は対象外の場合がある。
登録申請遅れやなどにより保険加入がされていない競技者が大会に参加申請する場合に参加ができない場合がある。
- 6.5. UCI 登録マウンテンバイクチーム
UCI 登録チームが本制度登録の場合には、既登録と同じ構成、内容でなければならない。
- 6.6. チーム臨時登録
UCI 加盟国連盟登録競技者が、大会参加を目的とする場合に臨時チーム登録を行うことができる。種別はナショナルチーム、UCI チーム、各国連盟登録チーム、個人である。
この参加者等の保険についてはそれぞれのチーム、競技者の責任による。
- 6.7. プレミアチーム
プレミアチーム 登録基準
当該年度の最低1名のエリート登録者、または登録時点でUCI 個人ランキング保持者を最低1名を有すること。プレミアチームの登録は毎年5月末日までとする。
- 6.8. チームジャージ
プレミアチームは、登録の提出時に、各チームのチーム・ジャージの彩色、レイアウトデザイン、スポンサーのロゴを含めて提出する。この規則はグラヴィティ系プレミアチームには適用しない。広告に関しては、UCI 規則 1.3.037, 1.3.048 による。
男子用と女子用の色彩は異なってもよいが、この場合2つのデザインを提出すること。
- 6.9. チームの権利
登録したプレミアチームは、チーム登録規程第4条にある権利を有し、次のような恩恵が受けられる:
- この条項はそのサービスが確定した時点で発効する。それまでの間におけるこのようなサービスについては各主催者により有償または無償で提供されることがある。
・フィードゾーン・パス(既実施済み)
・フィードゾーンにおける、セパレートされたスペース(既実施済み)
・情報サービスと発表(既実施済み: http://mtb-l.jp/)
・公認大会における技術スペースの提供(有償提供中)
・チームあたりX台のチーム専用駐車場パス(未実施)
・主要なイベント会場におけるニュートラルサービス
- 6.10 チームの構成、登録方法
- スタンダード・チーム
JCF 競技登録者による構成(昨年度の競技成績は問わない)
- | | | |
|---------|--------|--------------------------|
| チーム 登録費 | チーム年会費 | 3,000 円(1 チームあたり) |
| | 所属競技者 | 2,850 円(1 名。中学生 2,450 円) |
| | | (傷害、賠償責任保険料が含まれます) |
- プレミア・チーム
JCF 競技登録者で、次の者が1名以上所属しなければならない。
- ・当該年度 UCI 登録チーム所属競技者 または、
 - ・当該年度 UCI 個人ランキング保持者 または、
 - ・当該年度エリート登録者
- | | |
|--------|-------------------------|
| チーム年会費 | 3,000 円+17,000 円(1 チーム) |
| 所属競技者 | 2,850 円(1 名あたり) |
| | (傷害、賠償責任保険料が含まれます) |

競技者の追加登録について

競技者の追加登録については、サイトよりスタンダード・チーム登録手続き同様に同じ代表者が同じチーム名、チーム情報を入力した後に、通常通り手続きを行う。

競技者追加手数料(プレミア/スタンダード共) 3,000円(1件)

所属競技者 2,850円(1名。中学生 2,450円)

競技者の退団について

・チームからの退団: チーム代表者より次の情報とともにメールにてお知らせください。

チーム名、代表者名、代表者連絡先、対象競技者名、対象競技者連絡先、退団理由

メール題名:「チーム登録者退団届」 info@mtb-jp

※注1; チーム登録費算出例;

ケース1 スタンダード: 競技者3名、1名のマネージャー、1名のメカニックの場合

チーム年会費3,000円+(競技者3名×@1,000円)+(保険料3名×@1,850円)=11,550円(スタッフ登録費不要)

ケース2 スタンダード: 競技者1名、1名のマネージャー(競技者マネージャー兼務)の場合

チーム年会費3,000円+(競技者1名×@1,000円)+(保険料1名×@1,850円)=5,850円

ケース3 プレミア: 競技者3名、1名のマネージャー、1名のメカニックの場合

チーム年会費20,000円+(競技者3名×@1,000円)+(保険料3名×@1,850円)=28,550円(スタッフ登録費不要)

ケース4 プレミア: 競技者1名の追加の場合

追加手数料3,000円+(競技者1名×@1,000円)+(保険料1名×@1,850円)=5,850円

各ウェブ決済手数料、通信費等は含まれません。

※注2; 加入保険は「スポーツ安全保険」CまたはBとなります。内容はチーム所属選手を対象にJCF管理下(主催、主管、公認等マウンテンバイク大会)での事故により本人が傷害を被った場合、保険金額(死亡 2,000万円-600万円、後遺障害(最高) 3,000万円-900万円、入院(1日につき) 4,000円-1,800円、通院(1日につき) 1,500円-1,000円)。

賠償責任保険として支払限度額(身体・財物賠償合算1事故5億円、ただし身体賠償は1人1億円)。登録日より保険加入手続きが済んでいない場合は適用されず、大会への参加ができない、または別途保険料の徴収があります。スポーツ安全保険は加入団体ごとの団体保険であり、他の団体でスポーツ安全保険に加入している方も本登録を申請される際は掛金が必要です。また、登録終了しても保険約款により対象とならない場合があります。詳しい内容は、「スポーツ安全保険」の約款等を優先しますのでご参照ください。

<http://www.sportsanzen.org/>

※注3; JCF登録時の保険内容(個人賠償責任補償)については下記を参照のこと。

<http://jcf.or.jp/>

※注4; 臨時登録では各保険対象とはならないので各自保険加入を行うことが必要です。

※注5; エリート競技者が所属していてもスタンダードチームの登録が可能です。

6.11 チームの移籍

原則、シーズン中の他チームへの移籍はできない。

但し、移籍元と移籍先の双方代表者の了承がある場合には認められる。移籍については、

現登録チーム代表者よりの退団届け、および新たにチームへの追加登録が必要となる。

移籍手続きされても同シーズンのチームポイントは移籍前チームのものとなる。

移籍に関する如何なるクレームについても関与しない。

7. ランキング

公認クラスにおいて個人ランキングを作成する。

7.1. Coupe du Japon ランキング(個人)

① 当該年度の CJ-U または CJ-1 の高得点大会の該当種目を集計してランキングとする。

② ポイント集計とする対象大会数は、当該年度の CJ-U、CJ-1 の大会合計数に 65% を掛けて算出された大会数(小数点以下は切り上げ)の上位ポイントから算入する。但し大会合計数が3大会以下の場合には3大会とする。

同ポイントは全日本選手権大会上位、以降 CJ-U、CJ-1 直近大会上位を優先。

③ ポイント表 別表

クロスカンントリー・オリンピック開催時での事前のタイムトライアル、ショートトラックおよび、ダウンヒルでのクオリフィケーションについては、それらの合計ポイントを、その大会でのクロスカンントリーおよびダウンヒルの獲得ポイントとする。

④ クラス変更があった場合、ポイントの移行は出来ない。

⑤ CJ-U または CJ-1 の最終大会において年間表彰が行われる。年間表彰対象クラスは、次の通り。エリート、ジュニア(XCのみ)、マスターズ、ユース。

⑥ 男子エリート上位6位、女子エリート3位を翌年度の固定ナンバーとする。

⑦ リーダージャージ

シーズンを通して任意の該当クラスの個人ポイント首位競技者にリーダージャージを贈る場合がある。
この場合には該当競技大会においてリーダージャージの着用は義務となる。

UCI 規則抜粋

1.3.052 個人総合順位のリーダー・ジャージの使用を義務づける。

1.3.053 リーダー・ジャージの広告スペースは主催者のために留保する。

ただし、「UCI ジャージのビジュアルガイドライン」に記載の通り、競技者/チームが使用するためのスペースが確保される。

1.3.055 bis チームに留保されている広告スペースを除き変更してはならない。

7.2. ナショナルランキング(個人)

① 当該年度の全日本選手権大会および、その他すべての公認大会の高得点大会上位を集計してランキングとする。

② ポイント集計とする対象大会は、全日本選手権大会および当該年度の CJ-U、CJ-1 の大会合計数に 65% を掛けて算出された大会数(小数点以下は切り上げ)の上位ポイントから算入する。
但し大会合計数が3大会以下の場合には 3 大会とする。

同ポイントは全日本選手権大会上位、以降 CJ-U、CJ-1 直近大会上位を優先。

③ ポイント表 別表

クロスカントリー・オリンピック開催時での事前のタイムトライアル、ショートトラックおよび、ダウンヒルでのクオリフィケーションについては、それらの合計ポイントを、その大会でのクロスカントリーおよびダウンヒルの獲得ポイントとする。

④ クラス変更があった場合、ポイントの移行は出来ない。

7.3. チームランキング

① プレミアチームで、エンデュランス系とグラビティ系とに分けて集計する。

② チーム所属競技者(対象;エリートおよびジュニアクラス)の Coupe du Japon ランキング高ポイント獲得者2名の合計ポイントとする。

同ポイントの場合、男子エリート上位、女子エリート上位、男子ジュニア、女子ジュニアの順(以降繰り返し)となる。

③ CJ-U または CJ-1 のシーズン最終大会において年間表彰が行われる。

8. レジストレーション

大会参加を希望する競技者またはチーム代表者は事前に大会主催者が用意する受け付け手順により登録する。エントリー情報とエントリーフィーが揃ってはじめてエントリーが完了する。
エントリーの締め切りは厳守される。

次の競技者は参加費を免除される。 UCI エリート登録チームの所属競技者。

大会 2 週前にエントリーリストは作成されコミッセルパネルに送付される。

8.1 大会会場においてナンバーなどを受け取るレジストレーションを行なう。トレーニングその他の大会での権利はこの後に発生する。この際には有効なライセンスを提示しなければならない。
エントリーリストには次の項目が最低限含まれ五十音順となる。

種目 BIB クラス 氏名 フリガナ 生年月日 UCI ID チーム名 JCF 都道府県

9. ナンバー

ナンバープレートは、CJ-U、CJ1大会に最初に参加する際に、与えられた番号を年間使用する。ナンバーの変更は許可されていない

競技者は配布されたナンバープレートを管理し、次回大会参加時に持参する。

ボディナンバーは、大会ごとに配布されるものを装着する。

クラスにより次のカラーを使用する。

エリート:白地に黒ナンバー、ジュニア/ユース:青地に黒ナンバー、

マスター:黒地に白ナンバー、アドバンス:緑地に黒ナンバー、チャレンジ:緑地に黒ナンバー

女子全クラス:ピンク地に黒ナンバー

紛失、未所持、破損の場合には、コミッセルに申請して新しいナンバーを受け取る。

配布済みのナンバープレートの紛失、未所持の場合には手数料が徴収される。

(仮番号 1,000 円、紛失再発行 2,000 円)

9.1. ゴールドナンバー

昨年度 Coupe du Japon ランキング男子エリート 6 位、女子エリート 3 位にはゴールドナンバーを配布する。

10. トレーニング／ウォーミングアップ

10.1. 装備

コースには、受付を済ませた者のみ入ることができる。トレーニング時にも、配布を受けたナンバープレートを着用しなければならない。

10.2. 最低時間

競技前日に最低2時間、当日に30分以上を設ける。ダウンヒルにおいてはトレーニング前に徒歩でのインスペクションを設け、前日に次のクラスではタイムドセッションが行われる場合がある。(エリート、マスターズ、ユース)
UCI登録レースに於いては、これにかかわらず、少なくとも競技24時間前にコースが完成していなければならない。

11. セレモニー

各公認クラスの上位3位を表彰する。マスターズにおいては35, 40, 50, 60以上をそれぞれと対象とするが年間登録者が3名に満たない場合にはその年代の表彰は行わない。表彰については、原則クロスカントリーの場合には3位確定後、ダウンヒルは競技終了後ただちに表彰式を行う。同時間帯のクラスがある場合にはその最終確定時に行う。他の競技が重なる場合には、次の競技スタート後に行うことがある。表彰対象者の出席は義務である。表彰時には原則競技用、またはチームの服装とし、サングラスなどの顔が隠れるものを原則着用できない。

12. リザルト

大会終了後、2時間以内にリザルトとリターンフォームを下記アドレスに送付する。送付リザルトは「csv フォーマット」および「pdf フォーマット」とする。(文字化け、数値変換を避けるため)

UCI には担当コミッセルが UCI Data Ride サイトにて送付する。(国際公認のみ)
JCF あては mtb.jcf@gmail.com および mtb@jcf.or.jp に送付される。

13. ファーストエイド

少なくとも1台の救急車または緊急輸送車を用意する。少なくとも1名の医療従事者を要する。これにかかわらず UCI レースに於いては UCI 規則による。救護の状況は救護担当者により事故発生連絡表に記録され、連盟派遣のセクレタリーコミッセルに報告しなければならない。

報告先: info@mtb-l.jp

フォーム:

http://mtb-l.jp/wp/wp-content/uploads/2016/01/accident_report_form.doc
http://mtb-l.jp/wp/wp-content/uploads/2016/01/accident_report_form.pdf

14. 各大会テクニカルガイド
各大会のテクニカルガイドには、次の情報が含まれる。

- ・実施種目、クラス
- ・スケジュール(レース、トレーニング、マネージャーズ・ミーティング)
- ・コースマップ(距離、高低差、マーシャルポイント、メディカルポイント、F/TAゾーン)
- ・会場マップ(本部、受付、表彰、アンチドーピング、救護、リフト、駐車場、他)
- ・タイミング(使用機器の説明、トランスポンダー、ビーム、フォトフィニッシュ等)
- ・参加申請方法、締め切り、参加料
- ・最寄り病院情報(アクセス、連絡先)
- ・主催者情報
- ・適用される UCI ポイントスケール(必要な場合)
- ・適用される UCI 財務規程(必要な場合)
- ・必要な新型コロナウイルス感染症対策について

15. クラス昇格について
上位クラスへの昇格については、年間ナショナルランキングを基準とするもの、および各大会の成績等による特別昇格がある

次の成績を収めたもので資格を満たしている者は、シーズン途中の特別昇格対象となる。

- エンデュランス種目とグラビティ種目別
- 最終戦においてはシーズン中の特別昇格とならない。
(大会終了時点でランキングは確定するため)

チャレンジ、アドバンスにおいて

CJ-U 及び CJ-1(全日本選手権内開催含む)の大会における1位及び2位の競技者。
チャレンジはアドバンスへ、アドバンスは該当するライセンス上の年令クラスへの昇格

年令別クラスとは、次の通り。

エンデュランス系(クロスカントリー等)
男子エリート+男子U23、男子マスターズ、男子ジュニア、男子ユース
女子エリート+女子ジュニア、女子マスターズ、女子ユース
グラビティ系(ダウンヒル等)
男子エリート(ジュニアを含む)、男子マスターズ、男子ユース
女子エリート(ジュニアを含む)、女子マスターズ、女子ユース

昇格希望者は、大会終了後速やかに、info@mtb-l.jp に必要事項を送付し、次回大会より昇格したクラスにて競技を行う。次大会が開催された時点で昇格への権利は消失する。

氏名、チーム名、ライセンス番号、種目、現クラス、昇格希望クラス、昇格権獲得大会日付、昇格権獲得大会名、昇格権獲得の順位

上記以外に、過去を含む公認大会等での成績を元に昇格審査を申請することができる。この場合も上記の必要事項に加えて成績を証明するものなどを送付する。

16. クロスカントリー・オリムピック(XCO)

- 16.1. クラス統合(コンバインドルール)

各クラスとも大会事前受付時に5名に満たない場合には、上位クラスへ、上位が少ない場合には下位クラスと統合して競技を行う場合がある。統合されたクラス名は上位クラスのものとなる。競技者は統合されたクラスにて獲得した順位により表彰、ポイントを受ける。ポイントについては自身のクラスでのランキングに反映される。

この規則にかかわらず、テクニカルデレゲート、プレジデント・オブ・コミッセルパネル、レースディレクターの三者協議において安全面、合理的理由により統合を行わない場合がある。その場合にはクラスごとの順位が発表される。

(テクニカルデレゲートが任命されない場合は二者協議に於いて決定する)

- 16.2. 競技時間帯

競技一日開催、各時間帯での競技進行推奨例。

前日
レジストレーション
最低2時間のトレーニング(コースオープン)
16:00- クロスカントリーショートトラック(男子エリート)
17:00- チーム・マネージャーズ・ミーティング

当日
07:30-10:00 レジストレーション(第2時間帯のスタート前に締切る)
07:30-08:30 オフィシャルトレーニング(クロスカントリー)

第1時間帯(1.5h)

09:00- 男子アドバンス(-1:00)、男子チャレンジ(-1:00)、男子オープン

第2時間帯(1.5h)

10:30- 男子ユース(-1:00)
男子マスターズ(-1:15)

第3時間帯(1.5h)

12:00- 女子エリート(1:20-1:40)、女子ジュニア、マスターズ(1:00-1:15)
女子チャレンジ、ユース(-1:00)

第4時間帯(0.5h)

13:30- キッズレース等

この時間帯を30minとして市民参加型などを含むことができる。必要であれば、全体のプログラムスタートを30min程度早めるなどの調整が必要である。これらの参加者は臨時登録として扱う。

第5時間帯(2h)

14:15- 男子エリート(1:20-1:40)

14:20- 男子ジュニア(-1:15 / UCIレースにおいては第3時間帯を使用する場合がある)

16:00- 終了予定

16.3. ステージング

最新ランキングによりステージングを行う。競技者はステージング開始前に指定されたボックスにて待機する。1ボックスは最大30名

オーダー優先は次の通り

0:前日に行われたXCCの上位4 8 位まで

1:UCI個人ランキング

2:ナショナルランキング(シーズン最初のCJ-UまたはCJ-1までは前年度ランキング採用)

3:下位クラスからの昇格者上位から

4:その他(配分番号順、受付順等)

*全日本選手権大会のみ、昨年度同クラス優勝者が参加する場合に1番を配分する。

16.4. ユース、カデットの推奨競技時間は次の通り

男子 25分～35分

女子 25分

小学生高学年 20分～30分

小学生低学年 10分～20分

*IMBA(国際マウンテンバイク協会)による推奨競技時間。天候によりこの限りではない。

16.5. フィールド/テクニカルアシスタンス・ゾーン

ダブル・レイアウトを強く推奨し、**UCI登録大会では必須**とする。

ゾーンは、プレミアおよびスタンダードのゾーンに区分される。

プレミアゾーンへは発行されるパスが必要。パスは年間、または大会において担当コミッセルより配布される。年間パスの発効があった場合には、再発行に際して実費が必要となる。

主催者はニュートラル・フィールドゾーンを少なくとも1か所を設置し、競技者に飲料水を提供しなければならない。

16.6. 80%ルール

男女エリートにおいては80%ルールを適用する。

他のクラスにおいて適用しない場合は、先頭の競技者がフィニッシュすることをもって競技終了とする。その時点で、以降すべての競技者は新たな周回に入ることはできない。

同じ時間帯にて複数のクラスが同じ周回数にて競技する場合に、いずれかのクラスの前頭走者のフィニッシュをもって、他のクラスも同様にフィニッシュさせる場合がある。

これらの適用については、TDまたはPCPとレースディレクターにより協議される。

16.7. クロスカントリー・ショートトラックが前日に行われるCJ-U,CJ-1のクロスカントリー・オリンピックの場合には統合されたポイントがその大会のランキングポイントとなる。

17. クロスカントリー・ショートトラック XCC

17.1. クロスカントリー・ショートトラックは、単独またはクロスカントリー・オリンピック競技が行われる大会において、その前日までに実施されることがある。

17.2. CJ-U,CJ-1 において行われる場合のクラスについては次の通り

男子エリート

同大会のクロスカントリー・オリンピックに参加申請された者の中から、直近ランク順の最大上位 24 名（追加エントリーフィー無し）が参加する。（ランキングは UCI、ナショナルの順に適用）

その他のクラス

スタートリストへの反映がされないクラスが行われることがある。これらのクラスは参加人数によりクオリフィケーション、ファイナルと構成される場合がある。

これらクラスごとの結果はポイントランキングに反映される。

17.3. デュレーション

コースは最大 2km で競技時間は 15-30 分、80%規則を適用する。

17.4. クロスカントリー・オリンピックのスタートリスト反映

CJ-U,CJ-1 において行われる XCC 男子エリートの結果、**上位 4—8 名の順位**がそのままクロスカントリー・オリンピックにおいてのオーダー上位 **4** 名となる、5 位以降は既存ルールが適用される。

18. ダウンヒル

18.1. 競技形態

次のクラスは、各クオリファイイング・ラウンド(予選)とファイナル(決勝)を行う。

男子ユース	ファイナル進出者 5名
男子マスターズ	ファイナル進出者10名
女子エリート(ジュニア含む)	ファイナル進出者10名(最大13名)
男子エリート(ジュニア含む)	ファイナル進出者30名(最大41名)

チャレンジ、アドバンスはファイナル(決勝)1本の走行による。

18.2 スーパーエリート

男子エリート、女子エリートに於いては、エントリーされた競技者のうち、次の競技者をスーパーエリートとして、

① 最新 UCI ランキングにおいて男子エリート50位内の上位4名、女子30位内の上位2名。

② 最新 UCI ランキングにおける日本国籍の男子上位4名、女子2名。

③ 最新ナショナルランキングにおいて男子エリート3位まで、女子1位。

の競技者はファイナルに自動的に参加資格を得る。

いずれの場合も、クオリファイイング・ラウンドにおいて DNS の場合には権利が消失する。

これらの自動昇格によるファイナル進出者のスタート順は男子エリートでは15番以降に設定する。

18.3 競技時間帯

競技一日開催、各時間帯での競技進行推奨例。

前日	レジストレーション コースインスペクション(徒歩のみ) 最低2時間のトレーニング(コースオープン)
15:30-	タイムド・セッション(スーパーエリート、エリート、ジュニア、 マスターズ、ユース)
17:00-	チーム・マネージャーズ・ミーティング
当日	
08:00-08:30	レジストレーション
08:30-09:00	コースオープン(チャレンジ、アドバンス、マスターズ、女子ユース)
09:00-09:50	コースオープン(全クラス)
09:50-10:45	コースオープン(男女エリート、男子ユース)
11:30-	競技開始 ファイナル:チャレンジ、アドバンス クオリファイ:男子ユース、男子マスターズ、女子エリート、男子エリート
14:30-	ファイナル:男子ユース、男子マスターズ、女子エリート、男子エリート
16:00-	終了予定

*各クラス間の最低インターバルは3分。

*スタートの間隔はクオリファイ 30 秒、ファイナル 1 分を標準とする。

19. アンチドーピング

いずれの公認大会でもアンチドーピング検査実施の可能性は否定されない。

- 1) 大会参加者は、大会にエントリーした時点で**日本アンチ・ドーピング規程**に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
- 2) 未成年者(20歳未満)である本大会参加者のエントリーにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者の同意書の事前提出が必要である。
- 3) 大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになる。
- 4) 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
- 5) **日本アンチ・ドーピング規程**の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイトにて確認すること。

公益財団法人日本自転車競技連盟／アンチドーピングのページ
<https://jcf.or.jp/jcf-action/anti-doping/>

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
<https://www.playtruejapan.org/>

20. 新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止について

スポーツ庁、日本スポーツ協会のスポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン等を基本として感染防止に最大限の注意を払って運営がされるために次のような事項について実施または配慮される。これら感染対策は科学的研究や、状況の変化に応じて随時変更される場合がある。また開催地域により状況が異なることから地域自治体の方針に従うこととなるために逐次見直すことがある。

- ・会場入場時の検温
- ・チェックリストの提出
- ・3密の回避の実施
- ・マスクの着用指示
- ・清掃・消毒
- ・個人情報の関係機関との共有の可能性(保存期間終了後破棄)
- ・新型コロナウイルス感染症対策者の設置(主催者)
- ・各種滞在時間の短縮(セレモニー、取材等)

21. その他

- 1) 公認大会での成績は連盟強化指定選手選考の参考とする。
- 2) 大会中の疾病および負傷については応急処置を行うが、その後の治療費等は本人の責任とする。
- 3) 健康保険証を持参すること。
- 4) タイム・テーブル、注意事項等はコミュニケとして必要に応じ随時ノーティスボード、大会ウェブサイトにて発表するので、各自十分注意すること。
- 5) チームマネージャーズ・ミーティングの出席者は、競技者本人あるいは参加申込書記載のチームの関係者公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチあるいはJCFライセンス保持者とする。
- 6) 各主催者は、会場での盗難紛失等のトラブルについては一切責任を負わない。
- 7) 大会当日の公共交通機関、道路事情等による遅刻については、主催者は一切責任を負わない。
- 8) 各主催者は、個人情報の保護法令を遵守し、参加者の個人情報を取り扱う。
- 9) 本記載項目は、改善のためなどのために予告なく変更されることがあります。最新版については公益財団法人日本自転車競技連盟ホームページ(<http://www.jcf.or.jp>)、または一般社団法人MTBリーグホームページ(<http://www.mtb-l.jp>)にて記載される。
- 10) 自然な条件で開催される競技であり雨天や降雪などの場合でも基本的に大会は開催される。ただし、台風のような荒天、天災など安全確保が難しいとテクニカルデレゲート、コミッセルパネル、大会主催者、施設運営者が判断する場合に中止とすることがある。中止になった場合、参加要項に記載の通り参加費の返金は行わない。

- * マウンテンバイクは難易度の高いスポーツであることを認識してください。
マウンテンバイクコースは、岩や木の根、激しい路面のうねり・凸凹や山の傾斜、人工的なセクションなど、様々な自然的要素と幾つもの人工的要素により設定され、天候によってもそれらの状況は変化します。ライダーは自分自身の判断や責任において危険を回避する義務があります。

これらのコースを走行する際にはマウンテンバイクとして適正に製造され、また十分に整備された機材を使用してください。

コース内で転倒をしてしまった場合、二次事故（後方からの追突など）を避けるため、コース外または端に退避してください。

メカトラブルなどにより自走困難となった場合には、後続のライダーに注意を払いコース外を歩いて移動しスタッフ、マーシャルに連絡してください。

他者のアシストを必要とする事故を目撃した場合には一番近くのスタッフ、マーシャルに連絡してください。

けが人の救助活動のため競技中であってもコース内に車両が進入する場合があります。指示があった場合には指示に従ってください。

●ランキング算出用ポイント表(ナショナル、Coupe du Japon に適用)

20230101

	全日本選手権大会, CJ-U,全日本併催 CJ XCO,DHI・クラス共通	CJ-1 XCO,DHI・クラス共通 JOC ジュニア、ユース	全日本選手権大会等 下記クラス設定時 XCO U23	全日本選手権大会にお ける XCC,XCE	全日本選手権大会、CJ- U, CJ-1 における DHI ク オリファ イ、XCT,XCE,XCC 等 併催種目
1	300	250	200	75	20
2	240	200	150	60	17
3	210	175	125	53	15
4	180	150	100	45	13
5	168	140	75	42	11
6	156	130	60	39	10
7	144	120	50	36	9
8	120	100	40	33	8
9	108	90	30	30	7
10	102	85	27	27	6
11	96	80	24	24	5
12	90	75	21	21	4
13	84	70	19	19	3
14	78	65	17	17	2
15	72	60	16	16	1
16	66	55	15	15	-
17	60	50	14	14	
18	54	45	13	13	
19	48	40	12	12	
20	46	38	11	11	
21	44	36	10	10	
22	41	34	9	9	
23	39	32	8	8	
24	36	30	7	7	
25	34	28	6	6	
26	32	26	5	5	
27	29	24	4	4	
28	28	23	3	3	
29	27	22	2	2	
30	26	21	以降 1	以降 1	
31	25	20			
32	24	19			
33	23	18			
34	22	17			
35	21	16			
36	20	15			
37	19	14			
38	18	13			
39	17	12			
40	16	11			
41	15	10			
42	14	9			
43	13	8			
44	12	7			
45	11	6			
46	10	5			

47	9	4
48	8	3
49	7	2
50	6	以降 1
51	5	
52	4	
53	3	
54	2	
55	以降 1	

●チーム登録競技者の事故報告(傷害保険手続き)について

公認大会での負傷等についての保険請求手続きは、次のサイトより記入して送信してください。
<https://forms.gle/SQJBa9qxVVR4SLS8>

または、下記の内容を本人または代理人より電子メール(info@mtb-l.jp)にて送付願います。
 題名は、保険請求(****大会 氏名)としてください。
 連盟ではメール情報確認後、スポーツ安全協会へ連絡し、その後2週間ほどでスポーツ安全協会の保険幹事代理店より申請された住所へ「傷害保険金ご請求のご案内書」を送付します。
 治療が終了しましたら必要事項を記入・押印、必要書類(領収証、返信用封筒等)を添えて事務局宛に郵送ください。

103-0005 東京都中央区日本橋久松町 13-6-501
 一般社団法人MTBリーグ 保険申請係

=====

チーム名
 氏名&フリガナ
 生年月日
 年齢
 郵便番号
 住所
 マンション・ビル名
 電話番号(自宅等)
 電話番号(昼間に連絡がつくもの)
 事故発生日
 事故発生の時刻(●時頃など)
 事故発生場所
 事故の状況
 何をしているとき
 何が起きて
 どのようになったか
 (何が原因で、どの様になったのかを詳しく記載。「レース中、最終コーナーでスリップして転倒」など詳細に)
 けがの部位(大分類) 頭、首、胸、背、右肩、右腕、右手、左肩、左腕、左手、腰、右足、左足
 けがの部位
 けがの傷病名
 治療期間(見込み)入院()日。通院()日
 治療病院名(複数可)

=====

本件に関する個人情報、東京海上日動火災保険株式会社に送信され、保険引受の判断および損害サービスの提供(関係先への照会等の事実関係の調査や関係する損害保険について損害保険会社間での確認を含みます。)を行うために利用させていただきます。
 保険内容の詳細については、スポーツ安全協会のサイトよりご確認ください(加入区分 AW または C)

●2023 各クラス登録資格設定

これら各クラス毎に設定されている基準を満たしたものが、それらの各クラスに登録が可能である。

共通基準

- 1) UCI 規定 13 歳以上の年齢(当該年 12 月 31 日現在 13 歳以上)の公益財団法人日本自転車競技連盟競技登録者(通年)であり、マウンテンバイク・チーム登録手続きを済ませた競技者。
- 2) ここでいうナショナル・ランキングとは、毎年 1 月 1 日より 12 月 31 日までの期間に於いて、JCF ランキング制度に基づく該当大会ポイント集計によるものである。
- 3) 日本登録以外の UCI 加盟国連盟の競技登録者についてはマウンテンバイク部会選定による。
- 4) 本資格設定におけるナショナル・ランキングについては国内登録者を対象とする。そのために海外臨時登録者などマウンテンバイクチーム未登録者はこの基準に含まず、繰り上げが行われる。

●エンデュランス(クロスカントリー)

男子エリート(19 歳以上-U23 含む 2004 年以前生まれ)

- 1) 2022 年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 男子エリート 1 位-80 位までのポイント獲得者。
 - 男子アドバンスよりの男子エリートへの既途中特別昇格者。
 - 男子ジュニア 1-5 位までの年齢対象者(19 歳)。
 - 男子マスターズ 1-5 位までの競技者。(マスターズを選択しない場合)
 - 男子アドバンス 1-5 位までの年齢対象者(19 歳)。
 - 2) UCI 個人ランキング(クロスカントリー・エリートおよびジュニア)保持者
 - 3) UCI 登録チーム所属の競技者
 - 4) 委員会特別推薦者
 - 5) 2022 年の同クラス登録資格保持者
- * 全日本選手権大会または国際指定大会では U23・クラスを別開催
* 年度途中でのマスターズ、エリート間のクラス変更は不可
* 項目 5) については新型コロナ感染症拡大における救済処置として運用してきましたが 2024 年度から廃止予定

男子ジュニア(17-18 歳 2005 年-2006 年生まれ)

- 1) 2022 年ナショナル・ランキングによる資格者。
 - 男子ジュニアポイント獲得者
 - 男子ユースポイント獲得者で年齢対象者(この者はチャレンジを選択可能)
 - 男子アドバンスポイント獲得者で年齢対象者
 - 男子チャレンジポイント獲得者で年齢対象者
- 2) UCI 個人ランキング(クロスカントリー・ジュニア)保持者
- 3) 2021 年の同クラス登録資格保持者で年齢対象者(この者はチャレンジを選択可能)
- 4) 委員会特別推薦者

男子マスターズ(30 歳以上 1993 年以前生まれで、このクラスを選択した競技者)

- 1) 2022 年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 男子マスターズポイント獲得者
 - 男子エリートポイント獲得者で年齢対象者
 - 男子アドバンスポイント獲得者で年齢対象者
 - 男子チャレンジポイント獲得者で年齢対象者
 - 2) 2022 年アドバンスよりの既途中特別昇格者
 - 3) 2022 年男子マスターズ登録者、エリート登録者で年齢対象者。
 - 4) 2022 年の同クラス登録資格保持者
 - 5) 委員会特別推薦者
- * 年度途中でのマスターズ、エリートの相互クラス変更は不可
* UCI 登録チームメンバー、同年の UCI 個人ランキング保持者は含まれない
* 2021 年の UCI 規則 4.1.009 により 35 歳以上となるが同 1.1.036、037 を適用し、2024 登録より 35 歳とする。
* 項目 4) については新型コロナ感染症拡大における救済処置として運用してきましたが 2024 年度から廃止予定

男子ユース(13-16 歳 2007 年-2010 年生まれ)

- * 共通基準のみ

男子アドバンス(17 歳以上 2006 年以前生まれ)

- 1) 2022 年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 男子アドバンスポイント獲得者
 - 男子ジュニアポイント獲得者
 - 男子チャレンジ1-10位までの競技者
- 2) 2022 年男子チャレンジよりの既途中特別昇格者
- 3) 2022 年男子エリート、マスターズの登録者で当該年度基準に該当しない者
- 4) 委員会特別推薦者
- 5) 2022 年の同クラス登録資格保持者
- * 項目 5)については新型コロナ感染症拡大における救済処置として運用してきましたが 2024 年度から廃止予定

男子チャレンジ(17 歳以上 2006 年以前生まれ)

- 1) 2022 年度チャレンジ登録者
- 2) 他のクラス基準に該当しない者
- 3) 新規登録者

女子エリート(19 歳以上-U23 含む 2004 年以前生まれ)

- 1) 2022 年ナショナル・ランキングによる資格者
 - 女子エリート、女子マスターズ、ジュニア、チャレンジ、ポイント獲得者
- 2) UCIランキング(クロスカントリー)保持者
- 3) UCI登録チーム所属の競技者
- 4) 委員会特別推薦者
- 5) 2022 年の同クラス登録資格保持者
- * 全日本選手権大会、指定国際大会ではU23・クラスを別開催する場合がある
- * 年度途中でのマスターズ、エリートの相互クラス変更は不可。
- * 項目 5)については新型コロナ感染症拡大における救済処置として運用してきましたが 2024 年度から廃止予定

女子ジュニア(17-18 歳 2005 年-2006 年生まれ)

- * 共通基準のみ

女子マスターズ(30 歳以上 1988 年以前生まれ、このクラスを選択した競技者)

- 1) 2022 年女子エリート、マスターズ登録者で年令対象者
- 2) 2022 年チャレンジ・ランキング、ポイント獲得者
- 3) 委員会特別推薦者
- 4) 2022 年の同クラス登録資格保持者
- * 年度途中でのマスターズ、エリートの相互クラス変更は不可
- * UCI 登録チームメンバー、同年の UCI 個人ランキング保持者は含まれない
- * 2021 年の UCI 規則 4.1.009 により 35 歳以上となるが同 1.1.036、037 を適用し、2024 登録より 35 歳とする。
- * 項目 4)については新型コロナ感染症拡大における救済処置として運用してきましたが 2024 年度から廃止予定

女子ユース(13-16 歳 2007 年- 2010 年生まれ)

- * 共通基準のみ

女子チャレンジ(17 歳以上 2006 年以前生まれ)

- 1) 2022 年女子チャレンジ登録者
- 2) 他のクラス基準に該当しない者
- 3) 新規登録者

- * 各ランキング参照に於いては年齢クラスに関係なく総合の順位が基準となる。
- * UCI 登録チーム所属の競技者はエリートとなる。
- * 特別昇格は別途、昇格手続きを行う必要がある。(年度最終大会(CJ-1)での取得者等)

●2024 各クラス登録資格設定は、2023 年 9 月を目途に発表される。

以上